

学校だより

10月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和四年 九月三十日



子供たちは成長し続けます、これからも！

校長 吉野達雄

秋を感じようという生活科の学習で、一・二年生が林試の森公園へ行ってきました。白金台から不動前まで電車に乗ったのですが、駅までの道路の歩き方、電車内での過ごし方など公共マナーが大変すばらしかったです。駅員の方にこんなにしっかりと行動ができて子供たちは見たことがないとお褒めの言葉をいただきました。一・二年生だけでなく白金小学校の子供たちは、まわりのことを考え、集団で生活していく社会性が身につけています。今、世の中を見回すと、電車の中や公共の場で他人を意識せずに騒いでいる子供たち、それを注意できない大人たち、自分たちの価値観だけを正しいと思い込み行動する人たちがいるのも事実です。白金小学校の子供たちは人を思いやり、まわりのことをしっかりと見つめることができる大人になります。私たち大人も子供たちの手本となるように頑張らないといけないと強く感じました。

【苦手なこと・上手くできないことへの向き合い方】

「知ること・スモールステップ・発想を変えること」が大切です。子供たちを見ていて最近気になったことです。

○正しい鉛筆の持ち方は大人もできていない人が多いです。正しい持ち方だと適度に力が入り、字形が整ったきれいな字が書けます。まずは正しい持ち方を知ることから始めてみませんか。

○「恥ずかしくて人前で話せない、発言の声が小さく聞こえづらい、積極的に手を挙げるがわかりやすく伝えることができない」という場面をよく見ます。白金小学校では、「自分の思いや考えを、自信をもって話す児童」を目指しています。まずは、自分の思いや考えを明確にすることから始めるといいですね。

○魚は味が嫌いなのではなく、骨があるから苦手という子供たちがいます。骨がしっかりと出ているアジが出たときの給食残菜はいつもよりやや多いです。それだったら「給食に出さなければよい」という発想にはしたくないです。骨を取りながら味わうことの良さや楽しさに気付き、様々な食材に興味を広げて欲しいと思います。

学校保健とキャリア教育

主任養護教諭 大久保 美保

本校では、毎年、学校保健委員会で六年生対象に学校医や学校薬剤師、婦人科医を講師に招き、公開授業をおこなっています。テーマは、薬物や生活習慣、目の感染症、むし歯の成り立ちなど様々です。自分の興味のあるテーマに分かれ、講師から多くのことを学びます。

本校の保護者の方々の中には、医療関係の仕事に従事している方も多く、子供たちの将来の夢も、保護者と同じように医療関係を目指したいと思う子供たちが多いようです。そんな中で、実際の医師たちから聞く講話は、子供たちの興味を大きくひきつけ、将来の自分の進路を考える、キャリア教育の一つにもなっています。

医師からの講話の中では、自分の生活を振り返るような問いかけもあります。「健康ってなんだろう？」「健康になるためには？」簡単に分かるようでも実は奥深い質問です。公開授業は短い時間ではありますが、真剣に考え未来を想像する時間は、毎年、子供たちにとって有意義なものとなっています。

学校保健委員会

十月六日（木）五時間目 開催

※授業の参観をご希望の方は、事前にご連絡をください。



白金小学校
Twitter



学校HPからも
入れます。